

## 医療行為への対応

医療行為	可	応相談	不可	備考
インスリン	●			*コントロールのついている方
C-PAP	●			※自己管理可能な方
人工肛門	●			※自己管理可能な方（皮膚トラブルがない）
尿カテーテル	●			※抜去の査定を必要としない方（留置管理のみ）
吸引		▲		*感染のため吸引が頻回になっていない方（1日数回）
酸素		▲		*呼吸器症状が悪化していない方
褥瘡		▲		*ステージⅠ（発赤程度）
胃ろう		▲		*栄養剤が決定していて排泄（下痢）に影響していない方
輸血		▲		経過中に必要になった方
認知症		▲		
抑制		▲		
問題行動		▲		
腸ろう			×	
IVH			×	
末梢			×	
経鼻			×	
MRSA			×	
その他感染症			×	
透析			×	

### 【必須】

基本的に当院でコントロールできないため、現在提供されている医療の継続のみであること。  
また、上記の医療行為に対応が必要になった場合は、相談や対応を受けられること。

